

平成30年度 教科等別授業改善推進プラン

武蔵村山市立第九小学校 第5学年

教科等	(1)児童の実態から特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫※学力向上の具体的な手だてを示す	(3)補充・発展的な指導計画
国語	①習得した漢字を活用できる力 ②読み解く力 (ア情報を正確に取り出す力 イ比較・関連付けて読み取る力 ウ理解・解釈・推論して解決する力)	①漢字の「読みや書き」など基本的事項を授業で指導し、徹底して反復させていく。また、意図的に、習得した漢字を活用する場面をつくり日常化を図っていく。 ②ア・キーワードに線を引かせる。 ・短い文章に表現させる。 ・小見出しを付けさせる。 イ・接続詞の意味と働き等から(順接・逆接・換言・理由・例示)段落相互の関係を読み取る場面を設定する。 ウ・題名から文章内容を予想させ、説明文の要旨をまとめる。その後、段落相互の関係を再構成する場面を意図的・計画的につくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習ノートにより、積極的に家庭学習に取り組みさせていく。 ・九小版指導過程を各教科の授業で必ず実施し、児童が学習に主体的に取り組めるようにする。 ・児童の多様な考えを尊重し、どの考えについても間違いはなく、考えたままに表現できるような環境づくりをしていく。 ・板書計画や学習資料を工夫し、児童の思考の流れがつかむことができるようにしていく。 ・調べた内容で特に興味・関心が高いものについては、自主学習ノートで取り組む。
社会	①地名・社会的事項等についての知識理解 ②社会的事象の「目的・手段」「原因・結果」の関係を捉える	①授業において地域や地名が出た場合は、地図帳を活用したり、関連のある事について指導したりして、都道府県の位置・名称及びその特色を捉えさせる。 ②課題等について調べた後、整理させる。整理した後に関係ある事象を抜き出し、「これらのことからどんなことが言えるのか」と具体から抽象概念に結び付け、単元をまとめる力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを活用し、児童が考えた問題解決の過程を友達同士で共有できるように学び合いの活動の充実を図る。 ・教師の言葉かけで思考のゆさぶりを行うことができるようにする。
算数	①基礎的な計算力 ②式の意味や数量関係を読み取り、演算決定できる力 ③面図形や立体図形をイメージする力	①計算のきまりや様々な演算を正しく解くために前学年の指導事項も繰り返し、指導していく。 ②問題文から必要な情報を取り出し、数量の関係を数直線などで図式化し、演算決定できるとともに、立式の理由について筋道を立てて説明する場面を設定する。 ③平面図形や立体図形について観察・構成・分解や作図などの操作的な活動による指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを活用し、児童が考えた問題解決の過程を友達同士で共有できるように学び合いの活動の充実を図る。 ・教師の言葉かけで思考のゆさぶりを行うことができるようにする。
理科	①自ら仮説を立て、課題解決に取り組もうとする態度 ②実験・観察の方法について考える力 ③観察・実験等から考察し、規則性を捉える力	①仮説(予想・理由含む)を立てさせ、観察・実験の目的を明確にした指導の充実を図る。 ②実験の目的を基に、「どのようにすれば、調べることができるのか」という条件制御を基に実験の方法について考えさせる。 ③観察・実験から結果についてまとめる。その後、考察(分かったこと)を整理し、問題解決に取り組ませていく。	

教科等	(1)児童の実態から特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫
音楽	① <u>連合音楽会も視野に入れた、基礎基本の充実に取り組む。</u> ② <u>校内音楽会を見据えた発展的学習の充実。</u>	① <u>他声部との調和を重視した合唱指導。合奏曲練習における各種楽器の演奏法基礎指導。読譜における階名やリズムの学習の充実。</u> ② <u>篠笛の学習。9月の模範授業で取り組む。和楽器を交えた合奏の取り組み。</u>
図画工作	①自分なりの思いをもち、試しながら表現を工夫する力 ②興味をもって製作に活かそうとする態度	①児童が自らの感じたこと、考えたことに合わせて工夫できるような題材と出会わせ、材料を自ら工夫し扱えるよう配慮する。 ②自己や他児童の表現や美術作品などに様々に触れる鑑賞を行う。また、表現と鑑賞のより一層の一体化を図る。
家庭	①家族の一員として、自分にできることを見付け、実践していく態度	①身近な家庭生活を振り返られるよう、発問や学び合いの活動を効果的に設け、家庭科の授業で学んだことを実際の生活に活かしていけるようにする。
体育	①自ら進んで体力を向上させようとする態度 ②課題解決に向けて運動の仕方を考えたり、工夫したりする能力 ③健康・安全に努め、食を含む自らの健康な生活を築いていく知識	①単元の始めにオリエンテーションの時間を設け、運動の特性と基本的な技能のポイントを理解させ、主体的に取り組む動機付けをする。 ②自己の課題解決に向けて、児童が主体的に取り組むことができるような活動の場やグループでの学び合いの時間を効果的に設定していく。 ③健康・安全についての理解を深めていくために、主体的に課題解決に取り組むことができるよう学習カードや提示資料などを工夫していく。
特別の教科 道徳	①道徳的实践力	①児童同士が自分の考えを伝え合い、自分の考えを深めさせる。道徳の授業においては、意図的・計画的に価値葛藤の場を設定し、葛藤を克服していく過程を設定する。
英語活動	①コミュニケーション能力の素地 ②英語への慣れ親しみ ③外国の文化に対する興味・関心	①場面ごとに椅子の位置などの教室環境を工夫し、いろいろな人と交流できるようにする。 ②歌やチャンスを学習過程に効果的に設定し、リズムや音楽に合わせてインプット・アウトプットさせる。 ③日本と外国の写真等を見せ、共通点や相違点を見付ける活動を通して、外国の文化への興味・関心を高める。
総合的な学習の時間	①自ら課題を見付け、学び方を考え、問題を解決していく力 ②情報活用能力	①問題解決的な学習を設定し、児童自らが学習問題を立てる場面を意図的・計画的に設定していく。 ②コンピュータや情報通信ネットワーク、新聞を活用させる。
学級活動	①自発的・自治的態度 ②自己を生かす能力 ③よりよい人間関係を築こうとする態度	①学級目標に実現に向け、児童に良い点や課題点を考えさせ、改善点を実践させていく。 ②学級会を主とした児童の話し合いを積み重ねることで、一人一人が決定に参画していく「集団決定」を味わわせていく。 ③学級会を充実させる。